

プラン2 支え合いによる地域福祉社会づくり

アクションプログラム

1 高齢者の多様な居住環境整備 【達成状況区分 4】

【主な実施結果】

民間特別養護老人ホームの整備

- ・特別養護老人ホーム整備促進プランに基づく特別養護老人ホームの整備について、平成23年度に開設予定であった西菅地区、下小田中地区、宿河原西地区及び東小倉地区については予定どおり開設しましたが、南幸町地区及び小向仲野町地区については予定年度内に開設することができませんでした。

介護老人保健施設の整備

- ・介護老人保健施設の整備について、1施設の整備に着手しました。

その他の多様な居住環境の整備

- ・高齢者の多様な居住環境の整備に向けて、小規模多機能型居宅介護や認知症高齢者グループホームの等の地域密着型サービスの整備を推進しました。

【課題と今後の取組】

- ・特別養護老人ホームの整備については、予定年度内に2施設開設することができなかったことを踏まえ、よりきめ細やかな進捗管理を行い、特別養護老人ホーム整備促進プランに基づき、着実な整備を推進します。

2 誰もが自立した地域生活を送るための支援 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

認知症に関する相談支援体制の整備

- ・認知症に関する相談支援のため、認知症コールセンターの円滑な運営を図るとともに、医療従事者研修を実施するなど、相談支援体制の整備を推進しました。徘徊高齢者SOSネットワークの充実を図るため、関係機関や民間事業者と協議しました。また、福祉と医療の連携を図るための連絡会を設置しました。

日中活動の場の確保と在宅生活の支援

- ・障害者通所事業所整備計画に基づく日中活動の場の整備について、中原区において施設の整備に着手しましたが、多摩区については施設の整備に着手することができませんでした。
- ・南部地域における入所施設の検討について、入所待機者の実態把握のための基礎調査を行いました。
- ・生活ニーズや障害特性等に配慮した居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援、生活サポートについて、国の制度改正に対応するとともに、適正な運用によりサービス提供を確保しました。また、移動支援事業等従事者等の養成研修を実施しました。
- ・御幸日中活動センターを開設し、運営を開始しました。
- ・生活介護、就労継続支援、就労移行支援、自立訓練等の日中活動サービスについて、施設運営への補助や関係機関の連携体制確保により安定的なサービス提供を確保しました。

居住環境の整備

- ・グループホーム等の定員拡充に向けて、新・増設に係る事業者への指導や運営費の補助等の支援を行い、定員枠の拡充を図りました。

障害者の就労支援

- ・障害者の就労の場の拡大に向けて、関係機関による会議を開催して連携を図るとともに、シンポジウム、セミナー等の開催により市民や企業への普及啓発を図りました。また、チャレンジ雇用事業を継続実施しました。

【課題と今後の取組】

- ・障害者の日中活動の場の整備については、予定年度内に1施設開設することができなかったことを踏まえ、整備手法を一部見直すとともに、施設を設置・運営する法人や関係所管部署との綿密な連絡調整を行い、障害者通所事業所整備計画に基づき、着実な整備を推進します。
- ・認知症に関する相談支援体制の整備や障害者の地域生活支援の取組を引き続き推進します。

アクションプログラム

3 拠点的な福祉施設の計画的な再編整備 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

総合リハビリテーションセンターの整備

- ・中央療育センター通所部門を開設、運営を開始するとともに、入所部門の建設工事に着手しました。
- ・重度障害者等生活施設の実施設設計を完了し、建設工事に着手するとともに、指定管理者の指定を行いました。
- ・（仮称）中部児童養護施設の基本計画（案）を策定しました。

福祉センターの再編整備

- ・（仮称）川崎区内複合福祉施設及び南部地域療育センターの整備に向けて実施設計を行うとともに、条例改正や指定管理者制度導入に向けた検討・調整等を行いました。
- ・福寿荘入居者への転居支援を実施し、着実に転居を進めました。
- ・福祉センター跡地活用に向けて、庁内検討委員会を設置し、検討を進めました。

【課題と今後の取組】

- ・「リハビリテーション福祉・医療センター再編整備基本計画」及び「福祉センター再編整備基本計画」に基づき、引き続き各施設の再編整備を推進します。

4 信頼される市立病院の運営と地域保健医療環境の充実【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

井田病院の再編整備

- ・井田病院改築工事について、震災の影響により工事の進捗に遅れが生じたが、Ⅰ期建物が1月に完成し、平成24年5月に一部開院の見通しを立てることができました。
- ・一部開院に向けて医療機器整備及び総合医療情報システム開発等の取組を進めました。

地域医療の推進

- ・地域医療審議会を開催し、救急医療に係る課題解決に向けた施策を審議するとともに、地域保健医療計画の確実な進捗を図りました。
- ・民間医療法人による新百合ヶ丘総合病院の開設に向けて、建築工事の進捗確認を行いました。

【震災の影響による取組】

- ・井田病院改築工事について、東日本大震災の影響により工期に2ヵ月半の遅れが生じたため、工程の見直しを行い遅れが最小限になるよう努めるとともに、患者の安全確保を最優先とする移転計画を策定しました。

【課題と今後の取組】

- ・井田病院の再編整備について、5月の一部開院に向けて円滑な移転に取り組むとともに、引き続き着実な整備を推進します。
- ・地域保健医療計画について、現計画の期間が平成24年度までであることから、次期計画の策定に向けて検討を進めます。
- ・新百合ヶ丘総合病院の平成24年度の開院に向けて、関係機関との事業調整を行います。

アクションプログラム

5 シニア能力の発揮による支え合い 【達成状況区分 3】

【主な実施結果】

高齢者の生きがいづくり

- ・高齢者の地域での生きがいづくりを支援するため、各種講座や講演会を実施し、シニア向け情報誌を発行するなど、地域活動への参加促進に取り組みました。

健康づくり・介護予防の推進

- ・健康づくりや介護予防における市民の主体的な活動を推進するため、「いきいきリーダー」の養成や「介護予防かわさき体操」の普及、介護予防の啓発イベント開催による啓発などに取り組むとともに、「いきいきリーダー活動ポイント制度」の試行実施と検証を行いました。
- ・介護予防に係る二次予防事業（パワーリハビリテーション、転倒骨折予防、栄養改善、口腔ケア）及び一次予防事業による「いこい元気広場」について円滑に実施するとともに、基本チェックリストの送付等により普及啓発を図りました。

いきいきシニアライフの促進

- ・シニア世代が有する豊富な経験・知識・能力を地域社会の中で発揮できるような支援等を行うため、シニア施策関連部署による会議を開催して情報共有及び連携の強化を図るとともに、ホームページやパンフレット等を活用し、シニア世代が地域で活躍するための効果的な情報発信・情報提供を行いました。

【課題と今後の取組】

- ・高齢者が地域でいきいきと生活するとともに、地域活動の担い手として活躍することができるよう、引き続き、生きがいや健康づくり・介護予防、シニア施策の取組を着実に推進します。

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降

アクションプログラム：高齢者の多様な居住環境整備【達成状況区分：4】

○ 民間特別養護老人ホームの整備 多様な主体・手法により、介護保険制度における特別養護老人ホームの整備を進めます。	●特別養護老人ホーム整備促進プランの必要整備数の検証 ●特別養護老人ホームの整備推進 合計37か所2,964床	●特別養護老人ホームの整備推進 合計42か所3,367床程度(①～⑥含む) ①西菅地区(29床)開所 ②下小田中地区(29床)開所 ③宿河原西地区(80床)開所 ④東小倉地区(100床)増床 ⑤南幸町地区(136床)開所 ⑥小向仲野町地区(29床程度)開所 ⑦河原町地区(150床程度)整備着手 ⑧2か所(定数100床程度)整備着手	合計45か所3,717床程度(⑦、⑧含む) ⑦河原町地区(150床程度)開所 ⑧2か所(定数100床程度)開所 ⑨白山地区(130床程度)整備着手 ⑩虹ヶ丘地区(29床程度)整備着手 ⑪1か所(定数120床程度)整備着手 ⑫1か所(定数100床程度)整備着手 ⑬1か所(定数29床程度)整備着手	合計50か所4,125床程度(⑨～⑬含む) ⑨白山地区(130床程度)開所 ⑩虹ヶ丘地区(29床程度)開所 ⑪1か所(定数120床程度)開所 ⑫1か所(定数100床程度)開所 ⑬1か所(定数29床程度)開所	事業推進

2011年度
実施結果

達成状況区分
4

・広域型特養2か所(宿河原西地区、東小倉地区)及び小規模特養2か所(西菅地区、下小田中地区)を開設しました。
・広域型特養1か所(河原町地区)について、建設工事に着手しました。
・広域型特養2か所(野川地区、西生田地区)について、設置運営法人を決定し、設計の調整及び工事着手に向け調整を行いました。
・平成24年度工事着手予定の広域型特養3か所について、設置運営法人の募集を行いました。
・広域型特養1か所(南幸町地区)及び小規模特養1か所(小向仲野町地区)について、建設工事に着手しましたが、開設には至りませんでした。

【環境等の変化・課題等】

・広域型特養1か所(南幸町地区)について、事業計画に関する地域協議や土壌汚染の対応に時間を要したことから、建設工事の着手が遅れました。
・小規模特養1か所(小向仲野町地区)について、総合調整条例に基づく近隣との調整に時間を要したことから、建設工事の着手が遅れました。

【新たな課題への対応】

・特養については整備促進プランに基づく整備を進めているところですが、今年度、特養2か所が予定年度内に開設できなかったことを踏まえ、よりきめ細やかな進捗管理を行うことで、着実な整備を推進していきます。

○ 介護老人保健施設の整備 多様な主体・手法により特別養護老人ホームや介護老人保健施設など介護保険制度における基盤整備を進めます。	●介護老人保健施設の整備推進 合計17か所2,001床	●介護老人保健施設の整備推進 合計17か所2,001床 ①1か所(定数120床程度)整備着手	合計18か所2,121床程度(①含む) ①1か所(定数120床程度)開所 ②1か所(定数120床程度)整備着手	合計19か所2,241床程度(②含む) ②1か所(定数120床程度)開所	事業推進

2011年度
実施結果

達成状況区分
3

・平成24年度開所予定の介護老人保健施設について、建設工事に着手し、進捗管理を行いました。

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降
○ その他の多様な居住環境の整備 多様な主体・手法により特別養護老人ホームや介護老人保健施設など介護保険制度における基盤整備を進めます。	●地域密着型サービスの整備推進	●地域密着型サービスの整備推進 ①小規模多機能型居宅介護12か所 ②認知症高齢者グループホーム28ユニット	●第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく地域密着型サービスの整備推進	→ 事業推進	
2011年度 実施結果		達成状況区分 3			
		・地域密着型サービスの整備推進に向けて、開設希望事業者の事前相談に対応するとともに、川崎市介護保険運営協議会地域密着型サービス等部会において事業者の指定手続きを行い、小規模多機能型居宅介護事業開設者に対する助成を行いました。 (小規模多機能型居宅介護11事業所、認知症高齢者グループホーム32ユニット)			

アクションプログラム：誰もが自立した地域生活を送るための支援【達成状況区分：3】

○ 認知症に関する相談支援体制の整備 認知症に関する普及啓発や徘徊高齢者SOSネットワークの充実を図り、認知症高齢者等の地域による見守り機能の充実を図ります。	●認知症コールセンターの設置、運営 ●認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修、かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施 ●徘徊等へ対応したネットワークの充実	●認知症コールセンターの円滑な運営、普及に向けた取組 ●認知症介護指導者養成研修、認知症サポート医養成研修、かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施 ●徘徊等へ対応したネットワークの充実 ●福祉と医療が一体となった相談・支援体制のあり方検討			事業推進
2011年度 実施結果 達成状況区分 3 ・認知症コールセンターの円滑な運営を図るとともに、認知症サポート医の養成やかかりつけ医認知症対応力向上研修を実施し、福祉と医療の連携のための連絡会を設置しました。 ・徘徊高齢者SOSネットワークの充実を図るために、神奈川県や民間事業者と協議を行いました。					

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降
○ 日中活動の場の確保と在宅生活の支援 障害者の日中活動の場を提供する通所施設及び居住の場である入所施設を支援するとともに、日常生活を支援する介護給付や移動支援事業などのサービスを実施します。	●障害者通所事業所整備計画の策定	●障害者通所事業所整備計画に基づく日中活動の場の整備 ①整備着手2か所 中原区 多摩区	①開所2か所 中原区 多摩区 ②整備着手1か所 麻生区	②開所1か所 麻生区 ③整備着手3か所 幸区 宮前区 (宮前連絡所機能再編) 川崎区 (公害研究所跡地)	事業推進 ③開所(2014年度) 2か所 幸区 宮前区 (宮前連絡所機能再編)
	●南部地域における入所施設の検討	●南部地域における入所施設の検討			
	●生活ニーズや障害特性等に配慮した居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援、生活サポートの提供	●生活ニーズや障害特性等に配慮した居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援、生活サポートの提供			
	●重度訪問介護、移動支援事業等従事者等の養成研修の実施	●重度訪問介護、移動支援事業等従事者等の養成研修の実施			
	●御幸日中活動センターの整備	●御幸日中活動センターの開設・運営	●御幸日中活動センターの運営		
	●生活介護、就労継続支援、就労移行支援、自立訓練等の日中活動サービスの提供	●生活介護、就労継続支援、就労移行支援、自立訓練等の日中活動サービスの提供			
	●特別支援学校卒業生対策の推進	●特別支援学校卒業生対策の推進			
	●障害者自立支援法等の見直しにあわせた障害者施設運営費補助の見直しに向けた検討	●障害者自立支援法等の見直しにあわせた障害者施設運営費補助の見直しに向けた検討			

2011年度
実施結果

達成状況区分
4

・障害者通所事業所整備計画に基づく日中活動の場の整備として、中原区における施設の建設工事を完了しましたが、多摩区については施設開設を1年延伸することとし、運営法人の再公募を行いました。

・南部地域における入所施設の検討について、入所待機者の実態把握のための基礎調査を行いました。

・生活ニーズや障害特性等に配慮した居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援、生活サポートについて、国の制度改革に対応するとともに、適正な運用によりサービス提供を確保しました。

・移動支援事業等従事者等の養成研修を実施しました。

・北部リハビリテーションセンター等の施設運営のほか、御幸日中活動センターを開設し、障害特性に応じた専門的な支援を実施しました。

・生活介護、就労継続支援、就労移行支援、自立訓練等の日中活動サービスについて、施設運営への補助や関係機関の連携体制確保により安定的なサービス提供を確保しました。

【環境等の変化・課題等】

・多摩区における施設整備については、法人と施設整備予定地の土地所有者との調整不調により選定辞退となったことから、今年度の整備着手が困難となり、開設時期を1年延伸しました。

【新たな課題への対応】

・多摩区における施設整備に向けて運営法人の再公募を行うとともに、開設延期による代替受入先の確保などの対策を講じました。

・障害者通所事業所の整備について、整備手法を見直すとともに、施設を整備・運営する法人や関係所管部署との綿密な連絡調整を行い、着実に事業を推進していきます。

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降
○ 居住環境の整備 障害者の日常生活を支援し、共同で生活するグループホームの運営を支援します。	●グループホーム等の定員拡充、バリアフリー化に向けた取組 ●障害特性に応じた支援を行うための取組	●グループホーム等の定員拡充、バリアフリー化に向けた取組 ●障害特性に応じた支援を行うための取組			事業推進
2011年度 実施結果		・グループホーム等の新・増設に向けて、県への指定申請の指導や運営費の補助等支援を行い、62人分の定員枠を拡充しました。 ・法改正に伴う事務手続きを円滑に進めました。 ・平成24年度の新・増設に向けて、事前相談に対応し、法人選定を行いました。			
達成状況区分 3					

○ 障害者の就労支援 教育、労働、福祉等の分野を越えた関係機関の連携を図り、障害者の就労の場拡大に向けた事業を実施します。	●「障害者就労支援コーディネート会議」、「障害者雇用推進会議」の開催 ●「障害者雇用促進シンポジウム」の開催 ●「障害者雇用セミナー」の開催 ●川崎市役所における「チャレンジ雇用事業」の実施	●「障害者就労支援コーディネート会議」、「障害者雇用推進会議」の開催 ●「障害者雇用促進シンポジウム」の開催 ●「障害者雇用セミナー」の開催 ●「チャレンジ雇用事業」の実施			事業推進
2011年度 実施結果		・「障害者就労支援コーディネート会議」を6回、「障害者雇用推進会議」を2回開催して関係機関による課題検討を行うとともに、就職セミナー、就職準備講座、人材育成研修を実施しました。 ・障害者雇用シンポジウムや雇用セミナーを開催し、市民や企業への普及啓発を図りました。 ・「チャレンジ雇用事業」について、一般企業への就職につなげるとともに、職域の拡大を図りました。			
達成状況区分 3					

アクションプログラム：拠点的な福祉施設の計画的な再編整備【達成状況区分：3】

○ 総合リハビリテーションセンターの整備 障害者の地域生活を支援するため、また施設の老朽化等に対応するため、リハビリテーション福祉・医療センターの再編整備を進めます。	●(仮称)中央療育センター通所部門の整備 ●重度障害者等生活施設の整備(設計) ●「要保護児童施設整備の基本方針」に基づく取組の推進	●(仮称)中央療育センター通所部門の開設・運営 ●(仮称)中央療育センター入所部門の整備(建設工事着手) ●重度障害者等生活施設の整備(設計、建設工事着手) ●(仮称)中部児童養護施設の整備(基本計画) ●各施設の再編整備にあわせた管理運営体制の再構築に向けた取組	●(仮称)中央療育センター通所部門の運営 ●(仮称)中央療育センター入所部門の整備(完成) ●重度障害者等生活施設の整備(完成) ●(仮称)中央リハビリテーションセンターの整備(設計) ●(仮称)中部児童養護施設の整備(基本・実施設計)	●(仮称)中央療育センター入所部門の開設・運営 ●(仮称)中央リハビリテーションセンターの整備(設計、建設工事着手) ●(仮称)中部児童養護施設の整備(建設工事)	事業推進 ●障害者スポーツセンター整備に向けた取組 ●(仮称)中央リハビリテーションセンターの開設 ●(仮称)中部児童養護施設の開設(2014年度)
2011年度 実施結果		・中央療育センター通所部門を開設、運営を開始するとともに、入所部門の建設工事に着手しました。 ・重度障害者等生活施設の実施設計を完了し、建設工事に着手するとともに、指定管理者の指定を行いました。 ・(仮称)中部児童養護施設の基本計画(案)を策定しました。			
達成状況区分 3					

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降
○ 福祉センターの再編整備 施設の老朽化、耐震強度不足に対応するため、福祉センターの再編整備を進めます。	●福祉センター再編整備基本計画の策定及び計画に基づく取組 ●福寿荘入居者への転居支援の実施 ●南部地域療育センターの基本設計	●老人福祉・地域交流センター、こども文化センター、視覚障害者情報センター、わーくす、シルバー人材センターを含む(仮称)川崎区内複合福祉施設の整備(設計) ●福寿荘入居者への転居支援の実施 ●南部地域療育センター移転整備(実施設計) ●福祉センター跡地活用に向けた検討 ●各施設の再編整備にあわせた指定管理者制度の導入に向けた取組	●(仮称)川崎区内複合福祉施設の整備(建設工事) ●南部地域療育センター移転整備(建設工事着手)	→ ●南部地域療育センター移転整備完了 ●「跡地活用施設整備基本計画」策定	●(仮称)川崎区内複合福祉施設の開設(2014年度) ●南部地域療育センター開設(2014年度) ●福祉センターの解体及び「跡地活用施設整備基本計画」に基づく取組の推進

2011年度 実施結果	達成状況区分 3	・(仮称)川崎区内複合福祉施設及び南部地域療育センターの整備に向けて実施設計を行うとともに、条例改正や指定管理導入に向けた検討・調整等を行いました。 ・福寿荘入居者への転居支援を実施し、着実に転居を進めました。 ・福祉センター跡地活用に向けて、庁内検討委員会を設置し、検討を進めました。
----------------	-------------	---

アクションプログラム：信頼される市立病院の運営と地域保健医療環境の充実【達成状況区分：3】

○ 井田病院の再編整備 井田病院の効率的な運営をめざすとともに、老朽化した井田病院を再編整備します。	●再編整備の着実な推進 基本構想(2005年度) 整備着手(2009年度) ●専門的な成人疾患医療を担う病院として機能特化を推進 ●地域がん診療連携拠点病院としての機能整備を推進	●井田病院改築工事の推進(一期建物の完成・一部開院) ●新病院の開院に向けた医療機器等の整備 ●井田病院総合医療情報システムの二次開発	●井田病院改築工事の推進(二期建物建設工事) ●井田病院総合医療情報システムの二次開発と一部運用	●井田病院改築工事の推進(二期建物の完成) ●井田病院改築工事の推進	①新病院全面開院(2014年度) ②駐車場棟建設・院内保育施設建設・外構工事
---	---	---	---	---	---

2011年度 実施結果	達成状況区分 4	・井田病院改築工事について、一期工事が1月に完成し、一部引渡しを受け、5月の外来診療開始に向けて取組を進めました。 ・医療機器等の整備計画について、一部開院時期に合わせて整備費の縮減を図りました。 ・総合医療情報システム二次開発について、一部開院時期に合わせて開発を進めました。 【環境等の変化・課題等】 ・東日本大震災の影響により、工所用資材の調達に支障があったことなどから、工期に2か月半の遅れが生じ、一部開院を翌年度に繰り延べました。 【新たな課題への対応】 ・東日本大震災の影響による工事の遅れと整備費用の増加が懸念されましたが、工程を見直すこと等により、工事の遅れが最小限になるよう努めるとともに、整備費用の縮減を図り、平成24年1月に一期建物が完成し、一部引渡しを受けることができました。また、一部開院時期の変更に合わせて、総合医療情報システム二次開発のスケジュールの見直しをしました。今後は、平成24年5月の新棟での外来診療開始に向けた準備を進めるとともに、患者の安全を最優先にした移転計画を策定するなど、円滑な移転に取り組めます。
----------------	-------------	---

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降
○ 地域医療の推進 地域医療審議会において地域医療体制の充実を支援するとともに、良質な医療を提供します。	●地域医療審議会の開催 ●地域保健医療計画に基づく地域保健医療環境の充実に向けた取組の推進 ●民間医療法人による新百合ヶ丘総合病院の開設に向けた取組	●地域医療審議会の開催 ●地域保健医療計画に基づく地域保健医療環境の充実に向けた取組の推進 ●民間医療法人による新百合ヶ丘総合病院の開設に向けた取組	●新たな地域保健医療計画の策定 ●民間医療法人による新百合ヶ丘総合病院の開設・運営	●新たな地域保健医療計画に基づく取組の推進 ●民間医療法人による新百合ヶ丘総合病院の運営	事業推進
2011年度実施結果 達成状況区分 3		・地域医療審議会を3回、地域医療審議会救急医療体制検討委員会を4回開催し、救急医療に係る課題解決に向けた施策を審議するとともに、地域保健医療計画の確実な進捗を図りました。 ・民間医療法人による新百合ヶ丘総合病院の開設に向けて、建築工事の進捗確認を行いました。			

アクションプログラム：シニア能力の発揮による支え合い【達成状況区分：3】

○ 高齢者の生きがいづくり 高齢者が地域でいきいきとした生活を送ることができる生きがいづくりを支援します。	●「傾聴講座」、「パソコン講座」、「講演会」の開催 ●シニア向け情報誌「楽笑」の発行	●「傾聴講座」、「パソコン講座」、「講演会」の開催 ●シニア向け情報誌「楽笑」の発行			事業推進
2011年度実施結果 達成状況区分 3		・「傾聴講座」を開催し、19名の修了者に対して、地域活動につなげる情報提供を行いました。 ・「パソコン講座」を開催し、55名が修了して、その後の自主活動につなげました。 ・著名人による講演会を開催し、179名が参加しました。地域活動の情報提供を行い、参加を支援しました。 ・シニア向け情報誌「楽笑」について、関係機関等の要望を踏まえて内容や配布部数等の見直しを図り、年3回発行しました。また、いきいきグループ情報誌を改訂・発行し、地域の活動団体に関する広報を行いました。			

施 策 計 画 名	現 状	事業内容・目標			
		2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度以降
○ 健康づくり・介護予防の推進 要支援・要介護状態への移行や重度化を防ぐため、介護予防の重要性を広く市民に周知していくとともに、市民が主体的に参加できるしくみづくりを行います。また、パワーリハビリテーションなど効果的な介護予防事業を実施します。	●「いきいきリーダー」の養成(200人) ●「介護予防かわさき体操」の制作 ●介護予防をテーマとする講演会、ボランティア団体等の紹介・活動成果の発表会の開催 ●既存の団体等に対する活動の場の支援 ●「いきいきリーダー活動ポイント制度」の検討 ●二次予防事業(パワーリハビリテーション、栄養改善、口腔ケア)の実施 ●一次予防事業による「いきいき元気広場」の実施	●「いきいきリーダー」の養成(各年200人) ●「介護予防かわさき体操」の普及 ●介護予防をテーマとする講演会、ボランティア団体等の紹介・活動成果の発表会の開催 ●既存の団体等に対する活動の場の支援 ●「いきいきリーダー活動ポイント制度」の試行実施・検証 ●二次予防事業(パワーリハビリテーション、栄養改善、口腔ケア)の実施 ●一次予防事業による「いきいき元気広場」の実施	●「いきいきリーダー活動ポイント制度」の試行実施の検証を踏まえた取組 ●第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく介護予防事業の実施		事業推進

2011年度
実施結果

達成状況区分
3

・「いきいきリーダー養成講座」を開催し、105名が受講し、84名が修了しました。
・かわさきFMにおいて10月から番組を放送(計26回)しているほか、マスコットキャラクター「長寿郎」の作成等により普及啓発を図りました。
・著名人の講演会などを含む啓発イベントを開催し、約400名が参加しました。
・「いきいきリーダー活動ポイント制度」の試行実施(4月～6月)を行うとともに、施行後のアンケート調査等を踏まえ、制度のあり方の検証を行いました。
・二次予防事業(パワーリハビリテーション、転倒骨折予防、栄養改善、口腔ケア)及び一次予防事業による「いきいき元気広場」について円滑に実施するとともに、基本チェックリストの送付等により介護予防の普及啓発を図りました。(二次予防事業参加者数1,063名、いきいき元気広場参加者数21,671名)

○ いきいきシニアライフの促進
シニア世代が豊富な経験・知識・能力を地域社会の中で発揮し、地域活動の担い手となるような支援に取り組めます。

- 既存のシニア向け施策の再構築
- ホームページ「かわさきシニア応援サイト」の内容の充実
- シニアリポーター運営事業の実施
- シニア活動推進会議等を活用したシニア施策に係る情報共有・情報提供
- シニア施策の着実な推進

事業推進

2011年度
実施結果

達成状況区分
3

・シニア施策関連部署によるシニア活動推進会議や担当者レベルの連絡会を開催し、情報共有及び連携の強化を図りました。
・市民活動団体との協働型事業としてシニアリポーターの運営を行うとともに、シニア向けパンフレットを活用し、シニアが地域で活躍するための効果的な情報発信・情報提供を行いました。